

当面の日程

- 15日 地連書記会議第31回定期総会・交流集会
(PLP会館/ウェブ併用)
- 15～16日 地域保健・精神保健セミナー(TOC有明)
- 18日 自治労青年部主催政治学習会(ウェブ開催)
- 19日 戦争をさせない1000人委員会19日行動
(JR三田駅前)

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1643号

2023. 12. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

障労評が労働局に申し入れ 春闘期の交渉に向け 課題の見解を求める

県本部障害労働者評議会は、2023年11月13日に兵庫労働局に対し「障害者雇用の推進に向けた要求書」を提出し、河合良宣議長、山中一慶担当書記が交渉に応じるよう申し入れを行った。河合議長より労働局へ要求書を手交し、労働局への見解を求める要旨として、①障害者の雇用状況を明らかにすること。特に県教育委員会の実雇用率が数年間、横ばい状態であり、障害者任免状況通報書も公開されていないため、法律

に則った対応を行うよう強く指導すること。②欠格条項について、精神障害に至っては、減るどころか急増しているため、イメージによる一方的な判断を行わ



労働局へ要求書を提出する河合議長

ず、本人の意思や能力に基づいた判断を行うよう指導すること。③採用時の「自力通勤・介護者なし勤務可能な者に限る」とした欠格条項を削除するよう指導すること。④障害者が健康に働き続けるために「健康管理休暇」を設けるなど合理的配慮を行うこと。⑤特に聴覚、視覚障害者のための情報保障を行うこと。以上5項目について説明し、春闘期に交渉を行うことを確認し、申し入れを終えた。



交流会で意見交換

今回のテーマは廃棄物処理の現状と課題。ごみ焼却炉は広域行政での運営パターンが多く、組織内・協力議員の当該自治体(西脇、加東、たつの、神河)も近隣市町の枠組みで廃棄物処理を行っている。新ごみ処理場の建設にあたっては、直営を堅持する立場から情報共有により議会にも活かしてい

くことを確認した。交流会では議員の知識を深め、自治労方針をサポートする意味で有効な集まりとなった。確定期に実施した今回は、会計年度任用職員の人権について、4月週及の実施状況も共有され、吉岡嘉宏神河町議は「12月議会に向け、近隣の状況が把握できるよう体調管理を決意する年の瀬である。」

の沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事件を機に三線を始め、以来沖縄の歴史や文化に関心を持ち続けてきた。各地で歌い継がれてきた琉球民謡の奥深さに触れるとともに、泡盛も好んで飲んできたが、その文化的な側面にはあまり関心を持たなかった。飲食においては、あまり新しい味に挑戦しない保守的な質であるが、あくる年の新たな泡盛との出会いを期待しつつ、飲み続けられるよう体調管理を決意する年の瀬である。



11月1日の決起集会

会計年度任用職員の改定については、重点項目として交渉強化を図ることを10月の県本部単組代表者会議で意思統一。神戸市労連3単組(市職労・市従・交通)は11月8日をヤマ場に設定し、給料表の4月週及改定と12月期一時金を1・35月支給することで妥結。県職労は給料表の4月週及改定と12月期一時金を1・25月支給で11月22日に妥結した。

水準を確保するとともに、尼崎・伊丹・芦屋・宝塚・三田・淡路・南あわじが4月週及改定を確認。年末一時金に関しては、芦屋3単組・宝塚市・南あわじが人勧を上回る期末手当月数を確保し、その他の多くの単組は1・25月で妥結。24年の勤勉手当に関して、全単組で正規に準じた月数を確認。(一部継続協議)

播磨では、三木・小野・西脇・加西・たつの・相生・多可・神戸・神崎病院・佐用上郡・太子が給料表の4月週及改定で妥結。一時金について八鹿病院は現行で1・25月、丹波篠山は1・2・75月のため据え置きとなったものの、養父は1・35月、豊岡・豊岡病院・香美・朝来・丹波が1・25月で妥結した。

連合兵庫は、24春季生活闘争方針(案)説明会を11月27日に開催した。冒頭、福永明会長は「24春闘では、デフレマインドを払拭し、積極的な『人への投資』によって賃上げの流れを中期的に継続していくことが不可欠」と呼びかけた。

続いて、小菅元生労働条件・地域対策局長は「厚生労働白書では、組合のある企業は賃金が高いとし、水準闘争強化の取り組みとして、賃金実態を把握し、昨年を上回る賃上げ3%以上

き、味の違いを楽しめるようになってきた。沖縄県内に47ある酒造所すべての銘柄を試したわけではないが、それぞれ個性的で、どれも美味しい。ウチナンチュの泡盛へのこだわりを聞くのも楽しい。1991年25歳で初めて沖縄を訪れてから、早や33年。2004年の沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事件を機に三線を始め、以来沖縄の歴史や文化に関心を持ち続けてきた。各地で歌い継がれてきた琉球民謡の奥深さに触れるとともに、泡盛も好んで飲んできたが、その文化的な側面にはあまり関心を持たなかった。飲食においては、あまり新しい味に挑戦しない保守的な質であるが、あくる年の新たな泡盛との出会いを期待しつつ、飲み続けられるよう体調管理を決意する年の瀬である。

確定交渉結果

3月議会に向け交渉強化を

逆及未実施は納得できない

連合兵庫春闘説明会

5%以上の賃上げめざす 人への投資の継続が不可欠

いまいち座

一茶一花一木

アレ封印



松本 真紀子

自宅近所の行

きつけの居酒屋が、時々新しい銘柄の泡盛を仕入れてくれるのがきっかけで、飲み比べが得意になってきた。沖縄県内に47ある酒造所すべての銘柄を試したわけではないが、それぞれ個性的で、どれも美味しい。ウチナンチュの泡盛へのこだわりを聞くのも楽しい。1991年25歳で初めて沖縄を訪れてから、早や33年。2004年の沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事件を機に三線を始め、以来沖縄の歴史や文化に関心を持ち続けてきた。各地で歌い継がれてきた琉球民謡の奥深さに触れるとともに、泡盛も好んで飲んできたが、その文化的な側面にはあまり関心を持たなかった。飲食においては、あまり新しい味に挑戦しない保守的な質であるが、あくる年の新たな泡盛との出会いを期待しつつ、飲み続けられるよう体調管理を決意する年の瀬である。

しこう

阪神淡路ブロックフットサル大会は11月11日に三田市内で開催。8組(西宮水労、伊丹水労、三田市職労、猪名川町職、淡路市職労、洲本市職労、南あわじ市職労、淡路広域水労)がエントリーし、7チーム(洲本市職労・淡路広域水労が連合チーム)で予選2リーグ、決勝2リーグの全18ゲームを行った。



試合の様子

な声援を受ける中、6戦全勝の伊丹水労が優勝。若手メンバーが多い洲本・広域水労連合チームが準優勝、開催地単組の三田市職労が第3位となった。



熱戦をくりひろげた宍粟市職労チーム

12月2〜4日、和歌山市内で全日本自治体職員等バレーボール選手権大会全国優勝大会が開催され、22チームが熱戦を繰り広げた。試合は5組のリーグ戦で予選を実施。1勝すれば決勝トーナメントへの出場が決まる。宍粟市職労は栃木県の鹿沼市職労と対戦し、第1セットを先取されるも、残り2セットを取り、決勝リーグ進出した。

2日目の決勝リーグの初戦は富山県の黒部市病職と対戦。第1セット目を先制。第2セットも宍粟ペースで試合を進め、圧勝した。

全国女子バレーボール大会

白熱したシーン(宍粟)ゲーム 初出場ながらベスト8の快挙

ベスト4をかけた2回戦は山梨県の甲斐市職と対戦。序盤は宍粟の大前選手のアタックが決まり、第1ゲームを先取したものの、第2セットは甲斐に取られ3セット目に突入。両チームエースのアタック合戦となり、21対21までもつれ込んだが、惜しくも23対25で敗退した。

宍粟の大前主将は「全国大会ということで、足が固まってしまった。この悔しさをバネに次回の大会に繋げていきたい」と語った。

阪淡B 全勝で伊丹水労が優勝

女性の活躍で小野が勝利

播磨B



小野女性選手のゴール

播磨ブロックは第11回目となるフットサル交流会を11月26日、加西市内で開催した。12チーム・15単組が出場、2リーグに分けてプレイし、両リーグの上位3チームで順位決定戦を行った。

決勝は小野市職とたつの市労連のたたかいとなり、612で小野が9大会ぶりの優勝を果たした。

大会 改憲は本当に必要なのか 憲法審査会の議論に心を

憲法理念の実現をめざす第60回憲法大会が11月11〜13日にかけて新潟市内で開催され全国から約1400人が参加した。大会の冒頭、主催者あいさつに立つた藤本康成実行委員会委員長は「今、この瞬間でもウクライナ・パレスチナで人々が亡くなっている。悲劇の歴史を持つもの同士が殺し合っている。即時停戦を求めて行かなければならない」と述べた。



メイン企画の様子

その後、メイン企画「憲法審査会の現実と今後の私たちの取り組み」をテーマに、パネラーとして4人の国会議員から憲法審査会の現状や問題点が報告された。コーディネーターを務めた飯島慈明名古屋学院大教授は「本当に国民が憲法9条改正を必要としているのだろうか。改憲が戦争につながるという危険性を考えると、改憲をめざす政党が野党第1党となれば、憲法審査会では改憲議論が一気に加速し、危険な状況になる。私たちは護憲勢力を国会に送り出さなければならぬ」とまとめた。2日目以降は分科会やフィールドワークなどが開催され、様々な課題について、提起・議論が行われた。

沖縄連帯集会

強引な新基地建設 住民の思いを無視する政府



力強く語る山城さん

戦争をさせない1000人委員会ひょうごは、日本が戦争をできる国へとひた走り、沖縄が再び戦場になりかねない現状から「沖縄連帯集会」を10月22日に神戸市内で開催した。

集会では「再び沖縄を戦場にさせない県民の会」事務局長の山城博治さんが講演。「辺野古新基地建設は多くの県民が反対する中、政府は強権的で強引に進めている。玉城デニー知事は住民の意思をくみ取り、現在も国と対峙している」と述べた。

ホームページをご覧ください
【組合員専用ページ】では、より詳しい情報を発信します。
ログインには、ユーザー名・パスワードが必要です。
詳しくは単組役員にお問い合わせください。

自治労組合員のみなさんへ
広げよう!!
たすけあいありがとう
キャンペーン
キャンペーン期間 ※抽選は2回に分けて実施します。
2023.10.1〜2024.5.31
自主福祉運動は、組合員自らの手で「助け合い」を形にする共助の運動です。助け合いの輪が大きくなるほど、ひとりひとりの安心も大きくなります。自治労は、非営利の生活協同組合である「じちろう共済」の各種共済を助け合いの共済として推進しています。「じちろう共済」は、2023年6月に「こくみん共済 coop」と統合10周年を迎え、自治労はさらに助け合いの輪を広げるために「広げよう!たすけあい ありがとうキャンペーン」を実施します。

組合活動に参加してキャンペーンに応募しよう!
キャンペーン期間中に、組合で開催する自主福祉運動や共済制度に関する学習会等へ参加していただいた組合員を対象に「抽選」で賞品を進呈します。また、抽選キャンペーンへの応募1件につき、100円を子ども食堂に寄付します。
詳しくは組合までお問い合わせください。
抽選で賞品が当たる!
世界的人気No.1 Hydro Flaskのボトル
あなたの参加が子ども食堂への寄付に!